

月
日
二
三
報

ある日、SNSに「プチ同窓会に来ませんか?」とメッセージが届いた。

31期 市川 忠司

幹事会活動

- PTA親睦会・中止(10月)
○卒業を祝う会・PTA・教師
のみで開催(3月5日)

- 清流会総会・中止（6月）
- 清流会研修・飛鳥山公園（12月5日）
- 清流会新年会・中止（1月）

名誉会長	田中 博隆	(6期)
会長	鍵和田幹夫	(19期)
(幹事長兼任)		
副会長	新井 國貴	(15期)
(70周年実行委員長、名簿委員 長兼任)		

一般財団法人田園調布教育財団 理事長

田中
博隆

月日会（同窓会）はこの秋七十周年記念式典を開催いたします。

今春70期生が卒業され、1万8千名を超える卒業生の会となり、「田高」の絆を感じます。

1期	宝田雅敏会長
1期	金谷章弘会長
1期	松川東吉会長

1期 本多喜太郎会長
1期 森本幸久会長
1期 家入正男会長
6期 田中博隆会長
19期 鍵和田幹夫会長
と繋がれてきました。

昭和三十七年、「同窓会会報」創刊号を発行しました。

校旗贈呈 山田辰明校長先生へ

正門の文字は内藤隆校長先生揮毫

田高遺跡調査展示(大田区立郷土博物館)

幹	幹	幹	幹	幹	幹	幹	幹	幹	幹	幹	幹	幹	幹	幹	幹	幹
湯浅	佐藤	小林	後藤	鈴木	小松	木村	岡崎	福井	東田	守屋	荻野	八代	白井			
瑛介	匠海	和奏	彪治	翔也	りる	勇樹	澤牟	美奈	詩潮	俊奈	真嗣	開斗	蓮			
(70期)	(70期)	(69期)	(69期)	(69期)	(69期)	(69期)	(69期)	(69期)	(69期)	(69期)	(68期)	(68期)	(68期)			

幹事	幹事	幹事	幹事
山崎 流星	横小路 貴海	堀家 爽走	加藤木 智瑛
(70期)	(70期)	(70期)	(70期)

令和4年度
一般財団法人田園調布教育財団
月日会関係役員

評議員	鈴木 洋子	(11期)
理事長	田中 博隆	(6期)
副理事長	鍵和田幹夫	(19期)
理事	源田真由美	(20期)
理事	小西 正晃	(37期)

監事	簡敏	(9期)
運営委員	金子喜一郎	(7期)
運営委員	初音みね子	(14期)
運営委員	新井 國貴	(15期)
運営委員	加持 和子	(16期)
運営委員	市川 忠司	(31期)
運営委員	小田島あやめ	(61期)
運営委員	原田 美遥	(62期)
運営委員	高橋 圭哉	(63期)
運営委員	鈴木 颯	(63期)
運営委員	保坂晋之介	(67期)
運営委員	松林 京子	(67期)
運営委員	白井 蓮	(68期)
運営委員	八代 開斗	(68期)
運営委員	豊山 純平	(68期)

「自己の人間形成にまい進を」
 「三十周年記念誌」
 「山中寮売却」
 第9代 内藤 隆校長先生
 「校舎新築」
 「正門の東京都立田園調布高等
 学校の文字を揮毫」
 第10代 前田 徹校長先生
 「新しい田高の歴史をつくる」
 「校舎・校庭落成記念式典」
 第11代 古川稀久校長先生
 「伝統、そして創造へ」
 「留学生の受け入れ」
 第12代 吉田秀男校長先生
 「教育理念の先取り」

第17代 桑原 洋校長先生
「新たな学習指導要綱の改定」
「宿泊防災訓練の実施」
第18代 吉田 亘校長先生
「次世代リーダー養成道場」
「パソコン教室の改修」
「月日会総会を学校で」
第19代 海發真一校長先生
「進学指導研究校・パワーアッ
プハイスクール・学力向上の指
定校」
第20代 鴻野 誠校長先生
「知・徳・体のバランスの
とれた教育」
「良い挨拶を」
第21代 福原利信校長先生

「合唱祭」「朝の読書」「1年の奉仕活動」「推奨服の決定」
第16代 中野英雄校長先生
「アドバンスクラスを設置」
「創立六十周年記念行事は、オール田高で盛大に開催」
「六十周年記念誌発行」

このような歴代校長先生の熱い指導で、『月日会』七十年を迎えることができ感謝申し上げます。

走りつづける「田高」の発展と「月日会」の皆様のご健勝を心よりお祈りいたしております。

第七十回 卒業式次第

一 開式の辞
二 国歌斉唱
三 卒業証書授与
四 校長式辞
五 來賓紹介・
祝電披露
六 送辭

令和4年4月7日(木)
73期入学式が
開催されました。
新型コロナウイルス感
染症の影響に
より来賓はP

業生の皆さん、それぞれの進路先でも頑張ってください。

(19期鍵和田)

二百三十八名
田邊娑業生は延二万八千四百六十九名となりました。連絡可能月日会費は、約二万二千名です

卒業証書ホルダ

この度、卒寿を迎えられた廣瀬ミネ子先生より、月日会のためにと多額のご寄付をいただきました。心より御礼申しあげます。

一般財団法人 田園調布教育財団

新型コロナウイルス感染症により活動が大幅に縮小されました。

本財団は、主に運営委員を中心に「学校支援」「地域支援」「多摩川河川敷グラウンド運営」の各事業を企画運営しています。

多摩川河川敷グラウンドは40期代までの卒業生にとっては思い出もたくさんあるグラウンドではないでしょうか？

グラウンドの管理運営は財団が行い、平日は学校に貸出し、週末・祝日は地域のスポーツ段階に有料で開放しています。一方、日常のメンテナンス、台風等による災害からの復旧についてはすべて財団が行うこととなっています。

昨年11月から、地域団体の利用申し込み方法を抽選方式からオンラインによる予約システムに変更しました。それにあわせて、利用時間、利用料金の見直しなどを実施することにより、大幅に利便性が改善され、収益の改善も図ることができました。

グラウンド環境の維持管理についても、利用団体有志による草刈の実施を中心に早期に複数回行うことにより、良好な状態が維持されるようになりました。

月日会としても、財団が進めている改革に出来る限り協力をしていきたいと考えています。

URL : <http://www.denenchofu-kyouiku.or.jp/>

理事長 田中 博隆 (6期)
副理事長 鎌和 幹夫 (19期)
理事 源田 真由美 (20期)
理事 小西 正晃 (37期)

田高財団事業報告

(スポーツ鬼ごっこ、手話講習会、郷土の歴史探訪、中学生サッカー大会、小学生野球大会等) 新型コロナウイルス感染症により、2年連続で多くの事業が中止になりました。

9月26日(日)には、東京都スポーツ鬼ごっこ連盟との共催により「第5回東京都スポーツ鬼ごっこ大会、体験会」(8名)が開催されました。体験会には財団からの参加者を含め約30名、大会には、U-9、U-12の2カテゴリーに9チーム約150名が参加し、例年通りの熱戦が繰り広げられました。

11月6日(土)には、恒例の中川富美先生による「手話講習会」(2名)が開催されました。今年では会場を小会議室に戻しての開催となりましたが、新型コロナウイルス感染症対策として、参加者を15名に絞って行われました。参加者は例年通り中川先生の巧みな進行を全員で楽しみました。

11月13日(土)には、「第3回郷土の歴史探訪(古代から続くまほろばの地を歩く)」(4名)が開催されました。今回は「田高を中心に田園調布駅から多摩川台公園の古墳群を巡りながら多摩川まで歩きました。」

11月23日(火・祝)には、「第18回中学生サッカー大会」(3名)が大会区サッカー協会の協力により開催されました。12月12日(日)には、「第15回小学生野球大会」(3名)が、参加チームの協力により開催されました。

それぞれ3チーム総当たりで行われ、熱戦が続きました。選手・監督・コーチ、応援の保護者の皆さんは、コロナ対策を心がけながら大会を楽しんでいました。又、野球大会には、久しぶりに田高野球部から顧問・監督・部員5名が応援に駆け付け、試合進行の手伝い、優秀選手の選出などに活躍しました。

12月11日(土)には「手作り講習会」(4名)が行われ、みんなが作成した個性ある完成品を持ち帰りました。

又、4月予定の「多摩川河川敷清掃活動」、9月予定の「第33回ふれあいバザー」、1月予定の「第2回小学生サッカー大会」、2月予定の「パソコン講習会」は、それぞれ新型コロナウイルス感染症の影響により今年も中止となりました。

教職員異動

転出

北林 峻 (国語) 大森・定
松本 勇志 (物理) 立川・定
遠藤 浩司 (英語) 雲谷
金子 栄 (英語) 世田谷総合
松本 麻子 (英語) 六本木・定
鈴木 誠士 (保健体育) 高島・副校長
梶 恵美子 (経営企画室長)
富岡 知樹 (企画室主事)
港区立港南小・主事

転入

阿部 優花 (国語) 新規採用
宮崎 三喜男 (国語) 国際
土井 丈 (物理) 三田
加藤 聡生 (英語) 新規採用
佐野 俊子 (英語) 桜町
増田 智恵美 (英語) 世田谷総合
岡崎 寛 (保健体育) 蒲田
島崎 恵子 (英語) 新規採用
志水 栄雄 (経営企画室長)
オリパラ準備局

進路状況

70期生の進路

四年制大学	186
短期大学	2
専門学校	21
就職・公務員	0
浪人他	29
合計	238

合格者の多い四年制大学(既卒生含む)

日本大学	35	専修大学	17
神奈川大学	28	明治大学	15
法政大学	27	東洋大学	15
駒澤大学	26	東京都市大学	13
立正大学	22	帝京大学	13
目白大学	18	武蔵野大学	12

大学合格状況(現役のみ)

国公立大学 7名

福島大学(1)、新潟大学(1)、横浜国立大学(1)、鹿児島大学(1)、東京都立大学(1)、横浜国立大学(1)、都留文科大学(1)

私立大学 512名

早稲田大学(1)、慶応義塾大学(2)、上智大学(2)、東京理科大学(6)、学習院大学(5)、明治大学(13)、青山学院大学(2)、立教大学(4)、中央大学(6)、法政大学(25)、成蹊大学(4)、成城大学(4)、明治学院大学(6)、國學院大学(8)、武蔵大学(4)、日本大学(33)、東洋大学(14)、駒澤大学(26)、専修大学(17)他



郷土の歴史探訪



小学生野球大会

生徒会の活動

生徒会会長 3年A組 風越 勇斗

こんにちは、生徒会長の風越です。私たちの活動を紹介します。本校の生徒会は、より良い学校生活を実現するため、積極的に学校行事の運営や意見箱や生徒総会などを通じて、頂いた様々な意見や要望について生徒会一丸となり解決できるように工夫やアイデアを考え、実現させて、より良い田園調布高校につなげていきます。

生徒会が参加する3つの行事は、生徒総会・学校説明会・球技大会です。

まず生徒総会は、毎年4月と11月に行われます。各クラスで日課討論をした結果を私たち生徒会がまとめ、先生方に提出し、生徒総会終了後より具体的に実行、改善していきます。

次に学校説明会には、ボランティアという形で参加しています。田高への入学を志望している、中学生の方に、先生方の学校の紹介に加えて、私たちが日常生活の様子を追加説明し、部活動有志を募集し、部活動の日頃の練習成果の発表を主にしています。

最後に、球技大会の運営です。毎年3月中旬に行われる球技大会を、体育祭実行委員会などとともに、運営しています。生徒会はその中でいちから設営、全体の進行や審判、結果発表を行います。

桐の木

20本の「桐の木」は元気になっています。今春もきれいな花を咲かせ今は大きな青々とした葉を茂らせています。月日会50周年記念総会の折皆様のご賛同を頂き 桐の木募金をさせていただきました。

お陰様で20年がたち今年の70周年に偶然ですが20本(種や根から生育した木々も含め)が母校のグラウンド周囲に誇り高く生育しています。「桐の木」はまさに母校「田園調布高校」の宝です。

岡沢 武初代校長先生は、同窓会創刊号に「どうか桐の木の元木の成長を見守って下さい。桐の葉も幹も根も真に一体となって、一日も早く香わしい紫の花を咲かせるように心がけてください。この葉は、この花は諸君なのです。」と書かれています。多分校舎改築前にどこかに「桐の木」が植えられていたのかと改めて思います。

「近況お便りありがとう」のコーナーより、42号で13期阿部美子様「祝月日会70周年。桐の花が咲くと「田高」をなつかしく思い出します。」40号で中野英雄第16代校長先生「桐の木の成長の様子など見たいのですが、なかなか多忙です。」39号で20期鈴木勝康様「大田区の所在地に桐の木を30年前に植えました(2本)。立派に成長し、毎年老人施設の方が楽しみに見に来てくれます。」38号で16期吉村正子様「1年以上たちますが、田高の桐の花を見学会の時に見ることができました。桐という言葉の響きと花の色とに調和して高貴な雰囲気の中に記憶しています。」36号で13期磯部和子様「まだ桐の花を見に行けません。いつかは実現するのでしょうか。楽しみにしています」などのお便りがありました。ぜひお出かけ下さい。



写真は、満開の桐の花

名誉会長 田中 博隆(6期)

編集後記

本格的にウイズコロナ時代になってきました。ある程度の制限はあるものの、やっと様々な活動が再開され始めています。月日会の総会もコロナ対策に充分留意しつつ、開催の方向となりました。

地域のイベントも少しずつ再開しています。学校行事もこの2年間出来なかったことが出来るようになってきています。

しかしながら、物価は上昇、円安が続いているのに賃金は横ばいで家計に負担が重くのしかかっています。

月日会のように皆様からの会費とご寄付で活動させていただいている団体は不景気になるとすぐに影響が出てきます。

これからも月日会の活動を続けていくために、会員の皆様のご理解・ご協力を引き続きよろしくお願いいたします。

37期 小西 正晃

お知らせください!

会報を読んでのご意見、ご感想がありましたらご連絡ください。また、同期会開催案内、寄稿、住所変更等についてのお問い合わせも下記にお願いいたします。尚、お寄せ頂いた情報は掲載できないこともございますのでご了承下さい。

住所: 〒145-0076 大田区田園調布南13-9-507

月日会事務局 宛 Fax: 03-6459-8119

HP: <http://tsukihikai.net/>